讚美歌(1954年版) 268番

1. 神はわがやぐら、 わがつよき盾、
苦しめるときに 近きたすけぞ。
おのが力 おのが知恵を たのみとせる
陰府(よみ)の長(おき)も などおそるべき。
2. いかにか強くとも いかにか頼まん、
※いかでか ⇒ どうして
やがては朽つべき 人のちからを。
われと共に 戦いたもう イエス君こそ
万軍の主なる あまつ大神(おおかみ)。
3. 悪魔世にみちて よしおどすとも、
※よし…とも ⇒ たとえ…でも
かみの真理(まこと)こそ 我がうちにあれ、
陰府の長(おき)よ ほえ猛りて 迫り来とも、
主のさばきは 汝がうえにあり。
4. 暗きのちからの よし防ぐとも、
主のみことばこそ 進みにすすめ、
わが命も わがたからも とらばとりね
神のくには なお我にあり。

聖歌 233番

1. 御神は城なり 盾たてなり武器なり
悪に勝たしむる 強き助けなり
歳を経たる 暗きの長(おき)
秘術尽くし 攻め来たるも
などか恐るべき
2. **我らの力は 弱く頼りなし**
されど選ばれし 神の人ぞある
そは誰たれぞや 万軍(ばんぐん)の主なる
キリストイエス 勝ちを得たもう
唯一の神なり
3. 悪魔世に満ちて よしや脅すとも
我らは恐れじ 神は味方なり
この世の君 凄すごみ顔に
迫り来とも 何かはあらん
勝ちは定まれり
4. 御神の言葉は 前に進むなり
我らの内には 聖き御霊(みたま)あり
このいのちも 宝も名も
子らも妻も 献ささげまつらん
神の国の為

讚美歌21 377番

1. 神はわが砦 わが強き盾、
すべての悩みを 解き放ちたもう
悪しきものおごりたち、
邪な企てもて 戦を挑む。
2. **打ち勝つ力は われらには無し。**
力ある人を 神は立てたもう。
その人は主キリスト、万軍の君、
われと共に たたかう主なり。
3. 悪魔世に満ちて 攻め囲むとも
われらは恐れじ 守りは固し。
世の力さわぎ立ち 追るとも
主の言葉は 悪に打ち勝つ。
4. 力と恵みを われに賜わる
主の言葉こそは 進みに進まん。
わが命 わがすべて 取らば取れ。
神の国は なおわれにあり。